

## 29【P2】Ⅱ-307

薬剤師国家試験学習システムの運用と今後の課題

○村上 悦子<sup>1</sup>, 桑島 博<sup>1</sup>, 鈴木 茂生<sup>1</sup>, 坊木 佳人<sup>1</sup>(<sup>1</sup>近畿大薬)

【目的】本学では薬剤師国家試験に関するインターネットベースの学習システム（薬剤師国家試験学習システム）を5カ年計画で開発し、一昨年より実用稼働を開始した。このシステムにはコンテンツと呼ばれる20分程度の音声付き教材と出題分野や年度による検索が可能な過去の薬剤師国家試験問題が納められており、学生の学習進捗を教員は随時モニターできる。今回はこのシステムを実際に運用稼働しながら、学生への一斉アンケートを実施し、本システムの利用者側からの評価ならびに今後の問題点についてまとめた結果を報告する。

【方法】学習者に対してはマルチメディア教材の構成・教材の数およびアニメーションやナレーションの効果、学習確認用の演習問題・国家試験過去問題の検索および教員のサポート体制についてアンケートを行った。また教材作成者に対しては教材作成時の問題点・教材作成サポート・講義収録ビデオからのコンテンツ作成についてのアンケートを行った。

【結果】学習者はマルチメディア教材に対して概ね満足しているが、国家試験出題範囲を全て教材化してほしいとの要望が多く見られた。演習問題および過去問題への取組みにおいては卒業演習講義との連携を取るため教員側の指導とサポートが必要だと強く感じた。本コンテンツは専門業者のサポートを受けながらマルチメディア教材を作成したので、教材作成者はそれほど負担には感じていないが、これには大変な経費が必要となる。経費削減かつ教材不足を補うために、国家試験関連教科の講義をビデオ等に収録しコンテンツ化することを現在検討中である。また、学生の学習モチベーションアップおよび学習者自身の学習進捗を的確に把握するためのプログラム構築についても現在検討中である。